

THE 37th
ALL JAPAN
TEACHERS'
ENGLISH SPEECH
CONTEST

第37回

全国中学高校教員による

英語弁論大会

2015 実施要領



応募締切:

9月30日(水)

大会日時:

11月15日(日) 午後1時~

開催場所:

国際教育振興会・桜美林大学ビル地下ホール
(東京・四谷)



主催

一般財団法人国際教育振興会

後援

文部科学省、公益財団法人日本英語検定協会、米国大使館、
国際交流基金日米センター、日米協会、桜美林学園、朝日新聞社
専門学校新聞社、全国英語教育研究団体連合会、日米会話学院

過去5年間の受賞者

2010年 第32回	文部科学大臣賞	Diversity is power 多様性の力	本田 雅美 長崎県立長崎南高等学校
	主催団体特別賞	Communication in English 「コミュニケーション」英語 実践のために	山本 孝次 愛知県立大府東高等学校
	奨励賞	One step backward 後ろへ、一歩	浅海 若葉 東京都立飛鳥高等学校
2011年 第33回	文部科学大臣賞	I Sink You're Light 発音アップで英語好き	丸山 富久治 海陽学園海陽中等教育学校(愛知県)
	主催団体特別賞	The dilemma between an English user and an English teacher 英語使用者と英語教師の狭間で	鈴木 誠 埼玉県立川越女子高等学校
	奨励賞	Music Broadens My Horizons 吹奏楽部指導を通じて広がった視野	大穂 佑紀子 江戸川女子高等学校(東京都)
2012年 第34回	文部科学大臣賞	How I Learned to Say, 'Yes, I can Speak English!' 私に自信をくれた3つの小さな経験	縄田 尚己 宇部フロンティア大学付属香川高等学校
	主催団体特別賞	Taipei: Cool Efficiency 台湾はクールな教育国	遠藤 壽一 川崎市立川崎高等学校
	奨励賞	Would you like a cup of coffee? コーヒーを飲む前に	上田 あゆみ 愛媛県立松山南高等学校
	日米協会会長賞	The Mask 仮面	小林 由美子 愛知県立衣台高等学校
2013年 第35回	文部科学大臣賞	How To Win Speech Contests スピーチコンテストに勝つには	碓塚 桃子 大阪府立箕面高等学校
	主催団体特別賞	Leap into Teaching English in English 「英語を英語で」共に学び合う海に飛び込んで	浅海 若葉 東京都立飛鳥高等学校
	日米協会会長賞	Change Begins With You あなたから始まる	高岡 加絵 兵庫県立農業高等学校
2014年 第36回	文部科学大臣賞	I find 'gemstones' 輝く才能を探して	西尾 新 名古屋市立名東高等学校
	主催団体特別賞	The Right to Be Imperfect 下手である権利	木村 純一郎 北海道札幌国際情報高等学校
	日米協会会長賞	Border Line ボーダーライン	瀬崎 美帆 川崎市立川崎総合科学高等学校

(敬称略)

弊会は過去に昭和 38 年(1963)から平成 5 年(1993)まで合計 31 回にわたって、日本英語検定協会をはじめその他の教育団体、文部省のご協力やご後援をいただいて現職英語教員による英語弁論大会を開催しました。その後、いわば第一次英語学習熱の全国伝播が終了し、国内各地域に有力な英語学習の拠点が確立されるにつれて、同大会への参加者の数も次第に減少し、弊振興会では当初の目的は達成されたと判断してその後の大会を休止いたしました。

しかし近年、改めて日本の国際化の推進、学校での英語教育方法の再検討が求められ、とくに文部科学省が学校教育を通じての「英語の使える日本人」の育成に注力することになりました。小学校での英語教育の導入、高校での英語授業に英語を使用するなどの新方針が確定されています。このような状況の中で中学高校の英語教育の現場ではますます英語教員の指導力増強が求められます。

弊会では現職教員の英語力増強を推進、支援するために、平成 22 年(2010)、この英語弁論大会を 17 年ぶりに再開して、学校現場での英語教育の推進に資することにいたしました。現職の教員によるこのような個々の実力開示と競技の場への参加は、必ずやその指導下の生徒たちに対して有意義な教育的な刺激を与えるものと思われまます。

大会の開催趣旨にご賛同いただき、多くの教員の方々の応募をお待ちしております。

<実施要領>

日 時

2015 年 11 月 15 日(日)午後 1 時開始

開催場所

国際教育振興会・桜美林大学ビル地下ホール

(下記の主催者と同一の住所)

演 題

- ①異文化理解 ②英語教育 ③世界・アジアの中の日本
④教育と社会、などの関連で広義に自由に設定。

制限時間

7 分以内、時間超過の場合は減点の対象とします。
スピーチ終了後審査員との間に内容に関する英語での質疑応答があります。
過度の演出、演技および小道具の使用は禁止です。

出場資格

中学、高校の現職教員であること。常勤、非常勤を問わない。
(原則として英語圏の国に)合計で 3 年以上の居住経験のある方、
英語圏の国籍の両親または片親を持つ方を除きます。

審査基準

- ①メッセージ性と独自性(聴衆を惹き付けるメッセージ性がありかつ独自の見方や考え方が適切に表現されているか)
- ②事例の適切さ(取り上げられる事例は主題を説明する上で十分かつ適切なものであるか)
- ③内容と構成(内容が聴衆を充足させる知的なものであり、主題が整然と論理的かつ効果的に展開されているか)
- ④語句の使い方(主題、内容にふさわしい語句の選択、英語の発音、抑揚、文法は適切か)
- ⑤話し方(表情、動作などが自然で、好感が持て、かつ説得力があるか)
- ⑥質疑応答(準備されたスピーチ以外の場における口頭での対応は適切か)

出場者

予選審査を通過した方。本大会でのスピーチの順番は、主催者において決定します。予選審査は英文のスピーチ原稿と音読されたスピーチの音源によって行います。

表 彰

- 第 1 位 文部科学大臣賞・賞状、賞杯
第 2 位 主催団体特別賞・賞状、賞杯
第 3 位 日米協会会長賞・賞状、賞杯

応募方法

- ① 所定の申込書(ホームページからもダウンロードできます)
 - ② スピーチの原稿(A4サイズ、ダブルスペースでプリントアウトしたもの)
 - ③ スピーチを録音した CD、またはカセットテープ
 - ④ 顔写真 1 枚を申込書指定欄に貼付
- 上記①～④までを一緒に下記宛に郵送してください。なお、ご応募いただいた書類等一式は返却いたしませんのでご了承ください。

送り先

160-0004 東京都新宿区四谷 1-21
国際教育振興会 英語弁論大会係 宛て

応募締切

2015 年 9 月 30 日(水)消印有効。

予選の選考結果発表通知

2015 年 10 月 16 日(金)までに E-mail にて連絡します。

その他注記事項

1. 遠方からの本選出場者の方には、交通費の一部を負担いたします。なお、出場者の方のみで、付き添いまたは応援の方の費用は個人負担となります。
2. スピーチ原稿の著作権は主催団体に帰属します。
3. 個人情報の管理に関しては主催団体が責任を持って取り扱います。

問合せ先

〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-21
一般財団法人国際教育振興会 英語弁論大会係
電話 03-3359-9620(月～金 9:00～17:00)
E メール: benron@iec-nichibei.or.jp
URL: www.iec-nichibei.or.jp

第 37 回 全国中学高校教員による英語弁論大会
参加申込書 (平成 27 年度)

(ローマ字)			Mr. Ms.	上半身写真 (タテ 40mm×ヨコ 30mm) 以上 (タテ 65mm×ヨコ 48mm) 以内 プログラム掲載の際この写真を 転用いたします。
申込者氏名				
自宅住所	〒 Tel. - - E-mail: (PC) (携帯) (事務局からの連絡を Eメールで差し上げます。はっきりと正確にご記入ください。)			
在 職 学 校	学校名 (正式な名称を記入 のこと)	(英文)		
		(和文)		
	所在地	〒 Tel. - -		
担 当 科 目			教職経験	年
英語を母国語とする国における通算滞在期間	期 間	年 月	国名	
演 題	(英文)			
	(和文)			
*標記の通りにプログラムに使用します。				
上記記載事項に相違はございません。 平成27年 月 日 <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 80%; margin: 0 auto;"> (申 込 者) 印 </div>				